

公共社会学Ⅱ

科目ナンバリング SOC-238

選択 2単位

李 永淑

1. 授業の概要(ねらい)

私たちは日頃、公共という言葉をもとに理解して、使っているのでしょうか。例えば、社会一般、もしくは国家や政府に関連した領域で、多くの市民に開かれていたり、利用が可能になっていたり、利益になるような事柄を思い浮かべることができる。しかし、実際には、それらは誰にとっての、どこまでの範囲の公共なのでしょう。そして、今日の現代社会において、公共はどのような意味を持ち、どのようなことが問われているのでしょうか。本授業では、公共性というフィルターを現代社会に通してみると、どのような景色が見えてくるのか、講義のほか、映像や写真なども用いて様々な視点から検討します。

2. 授業の到達目標

- ・社会の利益と自身の利益の相関を考えることができる。
- ・市民社会の一員として、どのように現代社会に参加していけるのか、自分自身の考えをまとめ、議論することができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加状況とコメントペーパー(50%)、試験(50%)から、総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

授業で適宜紹介します。

5. 準備学修の内容

日頃の日常生活から巷のニュース、世界のニュースに対して、様々な捉え方をしよう心掛けてください。議論に参加できるように、配付資料や紹介する参考文献等を用いて、各回の授業内容を復習しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

授業の内容をもとに議論と発表の場を設ける予定ですので、積極的に参加してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 「高齢者」から考える:社会保障をてがかりに①
- 【第3回】 「高齢者」から考える:社会保障をてがかりに②
- 【第4回】 「若者」から考える①:社会保障をてがかりに
- 【第5回】 「若者」から考える②:「貧困」と「ホームレス」をてがかりに
- 【第6回】 「若者」から考える③:「仕事」をてがかりに
- 【第7回】 「若者」から考える④:「インターンシップ」をてがかりに
- 【第8回】 「教育」から考える①:アメリカの事例をてがかりに
- 【第9回】 「教育」から考える②:アメリカの事例をてがかりに
- 【第10回】 「教育」から考える③:「公教育」をてがかりに
- 【第11回】 「多様性」から考える:ハンナ・アーレントをてがかりに①
- 【第12回】 「多様性」から考える:ハンナ・アーレントをてがかりに②
- 【第13回】 「多様性」から考える:ハンナ・アーレントをてがかりに③
- 【第14回】 「多様性」から考える:ハンナ・アーレントをてがかりに④
- 【第15回】 まとめ